

Kenren No.78 kanon

神奈川県
合唱連盟
機関情報誌

2012 年夏号

発行：2012.7.10

◆ 平成 24 年度 総会開催 ◆ 役員・理事改選 新理事長に松村努氏

平成 24 年 4 月 8 日（日）かながわ県民センターホールにおいて、神奈川県合唱連盟の総会が開催されました。

加盟団体 321 会員のうち、出席 228 会員、委任 50 会員により開催。来賓には、朝日新聞横浜総局長の脇阪氏をお招きしました。

総会はこの日で退任される田中理事長の開会にあたっての挨拶からはじまり、議長に円混声合唱団の高橋謙治氏、書記に横須賀女声合唱団の光末鐸子氏が選任され、平成 23 年度事業報告・収支決算報告、監査報告、平成 24 年度業計画案・収支予算案が審議され、いずれも異議なく承認されました。



田中前理事長の挨拶の様子

役員改選では新役員の選出が行われ、新理事長に松村努氏、

新副理事長に藤原規生氏、志澤彰氏、福田美知子氏が



松村努新理事長

選出され、承認されました。更に今年度は 2 年に一度の理事改選の年にあたり、12 人の新任理事が選出されました。この新たな体制で 24 年度がスタートいたします。どうぞ、よろしくお願いします。

また今回退任されました田中前理事長、平井前副理事長、田中（実）前事務局長、室井前事務局次長には、

心より御礼を申し上げます。更に今回退任された理事の皆様にも厚く御礼申し上げるとともに、神奈川県合唱連盟におけるこれまでの活動に関して感謝の念を申し上げます。

さて、平成 24 年度は 11 の事業が予定されております。県連事業は会員様のご協力によって成り立っております。各行事に皆様のご参加をお待ちしております。

左から藤原規生、志澤彰、福田美知子の
新副理事長

なお最後にご報告として、5 月 6 日（日）に開催されました神奈川県合唱連盟 2012 年度第 2 回理事会において、田中登志生前理事長及び平井保前副理事長に対し、顧問へのご就任を議決したことをご報告します。

（記事：カノン担当 渋谷）



総会の様子

新理事長 就任挨拶

4月の総会において、神奈川県合唱連盟理事長を務めさせていただく事となりました、松村努でございます。田中前理事長の下、微力ながら6年間副理事長として県連のお手伝いをさせていただいて参りました。その間、田中前理事長を始め、平井前副理事長や沢山の方々に多くの事を学ばせて頂き、県連の取り組みのすばらしさ、また同時に難しさも経験いたしました。支えて下さった皆様に深く感謝しております。

神奈川県合唱連盟は、加盟団体数が300を超える、全国的に見ても、その規模はとても大きなものです。また充実した行事の数々は大変に注目をされています。中でも、ジュニア世代の育成のために企画された、【地域と結ぶプロジェクト】は、そのノウハウを各県連が参考にしているほどです。合唱



松村努 新理事長

界の未来は今の子供たちをいかに育てるのか、合唱のすばらしさをいかに伝えるのかに掛かっている訳ですから、神奈川の、この取り組みが注目されるのも当然のことと言えます。

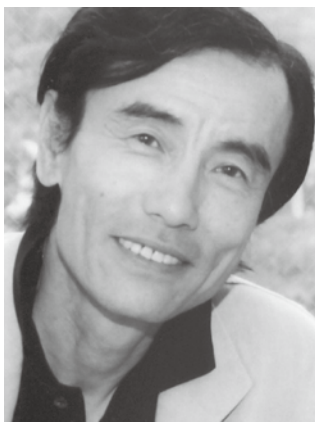
県連は、6月の合唱祭を始めとして合唱講習会、合唱フェスティバル、ヴィサンなど多くの行事を企画、実行していますが、こうした取り組みは、歴代の理事長先生、情熱を持って県連を支えて下さった諸先輩の方々、ボランティアの大勢のスタッフの方々のご尽力があつてのことだと感じています。こうした事業を更に充実させていくことは、私たち世代の大きな責任です。ただ漫然と行事を遂行するのではなく、一つ一つの事業の内容を見極めながら、今後の展望をしっかりと考えていきたいと思ひます。

また、実に多様な合唱団が県連に参加されています。それぞれが合唱連盟に期待すること、参加の目的は違う訳ですが、連盟という一つの組織に縁があつてご一緒にいるのですから、合唱団同士の横の繋がりが新たに生まれることを期待しています。自分たちの合唱団の取り組みや、良さをアピールする場があつたり、お互いの演奏を聴き合い、大きな拍手を送ったり、感想を伝えたりすることが、自然に出来る環境が生まれる事を望んでいます。良い合唱は心を合わせることから始まる訳ですから。そんなお手伝いが出来ればと考えています。

県連の理事経験の長い志澤彰さん、福田美知子さん、日本合唱指揮者協会でも優れた理事として活躍の藤原規生さん、お三方に副理事長にご就任頂き、また、沢山の合唱団の方に理事としてお手伝い頂き、今後二年間、神奈川県合唱連盟を運営して参りたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

退任のご挨拶

◆田中登志生 前理事長



先日は推戴状を送って頂き、神奈川県合唱連盟顧問の任を拝命致しました。光栄に思い大変嬉しく感じております。私が連盟に入れて頂いたのは、12年前に桑原妙子先生が声をかけて下さったのがきっかけでした。確か、桜木町駅からみなとみらいホールへ向う途中偶然ご一緒した時だったと記憶しています。個人会員に加入させて頂いてすぐに、伊集院理事長、桑原副理事長の命により合唱講習会の実行委員長の役をお引き受けしたのですが、第1回の講習会は台風の影響で中止という大きなアクシデントの中、連盟での活動を開始致しました。その後、桑原理事長の下で副理事長を4年、そして理事の皆様や松村現理事長のお力を借りながら、6年間どうか理事長を務める事ができました。ありがとうございました。特に平井先生には私の副理事長時代から事務局長そして副理事長をお引き受け頂き、県連の運営に携わって頂きまして本当に感謝の言葉もございません。今回平井先生と二人揃っての顧問就任は大変な喜びであります。少しでも合唱連盟のお役に立つことがあれば、心からの協力をさせて頂きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



◆平井保 前副理事長



この度、三十有余年にわたりお世話になった神奈川県合唱連盟の役員を退任致しました。

光陰矢のごとしと申しますが、振り返れば人生の半分近くを合唱連盟の皆様と過ごしたことになります。

私が初めて理事になったのは吉田孝古磨先生の時代でした。その後、伊

集院俊光先生、桑原妙子先生、そして田中登志生先生とご一緒し、その素晴らしい音楽性と指導性に触れたことは、大変に貴重な経験と思っております。

桑原先生の時代に、永年事務局長を務められた高橋賢治さんが御病気で他になられ、その後を引き継いだ形で事務局長兼副理事長を務めさせて頂きました。

その間、県連事務所の朝日会館への移転、県連50周年記念行事、おかあさんコーラス全国大会、昨年の東日本大震災に伴うアンサンブルコンテスト、ジュニア合唱祭の中止など、たくさんの思い出が蘇ります。御存じのように、私が合唱活動の傍ら、横浜市の技術アドバイザーとして企業の経営指導にあたっていたこと、そこで学んだマネジメントが少しはお役に立てたかと思っております。

組織はたくさんの方々で構成され成り立っていますが、熱い思いと卓越した行動力がその組織を動かす力となります。人が集えばたくさんの意見があるのですが、それぞれ善意に基づく意見ですから、ひとつひとつを大事にすることが求められます。しかしながら、突出した意見だけに振り回されると、チームワークが崩れてしまうこともあります。

それらのことを考慮し、バランスの取れた運営が望まれることは言うまでもありません。

若返った新しい合唱連盟は、熱い思いと行動力を持った方々の集まりであり、これからの活動によって県内外の合唱活動がますます盛んになっていくことと推察致します。

ここに、長い間の皆様方のご協力、御支援に深く感謝致します。

また、顧問への就任に際し、皆様のご推薦を頂くなど、温かいご配慮に重ねてお礼を申し上げ、今後ますますのご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

「第 35 回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会」開催報告

4月21日(土)神奈川県立音楽堂にて、「第35回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会」が開催されました。今年度は、28団体出演、620人の参加となりました。

おかあさんコーラス大会ならではの、バラエティに富んだ曲目、選考委員の先生から、「曲目が重複することがほとんどなく、28団体実力が伯仲しており、聞きごたえのあるすばらしい大会」と講評いただくほど、すばらしい演奏が続く大会となりました。

今年度は午前中からの開催となったのですが、午前中は大変お客様が少なく、残念でした。このようなすばらしい演奏を、たくさんの方に聞いていただけたらと切に願います。

そして、優秀賞(6団体)、優良賞(5団体)が選出され、優秀賞6団体、優良賞3団体(抽選により選出)、あわせて、9団体が関東支部大会の出場権を獲得しました。関東支部大会は、7月7日(土)8日(日)静岡市民文化会館大ホールで行われました。神奈川県勢の活躍は次号Kanon79号にてご報告させていただきたいと思っています。



演奏の様子



表彰式で挨拶する松村理事長

受賞団体は以下の通りです。

◆優秀賞

桐蔭学園「桐響会」

女声合唱団「松」^{SHO}

ラ・カンパネラ

湘南はまゆう

Asian Winds

緑フラウエンコール

◆優良賞

女声ヴォーカルアンサンブル「おときかく」*

ボカ・グランデ

女声合唱団コーラル・ベル*

あんさんぶる“風雅”*

フラウエンコア・ヴォンネ

(*が抽選により関東支部大会出場)

<選考委員(50音順 敬称略)>

足達勝子(合唱指揮者)

清水昭(指揮者)

田中奈美子(声楽家)

仁階堂孝(指揮者)

吉田孝古磨(指揮者)

(記事:おかあさんコーラス大会 実行委員 渋谷直美)



実行委員の皆さん

第34回神奈川ジュニア合唱祭 開催報告

4月1日(日)、県立音楽堂にて第34回神奈川ジュニア合唱祭が開催されました。昨年は震災直後と言うこともありまして、子供たちの安全面を総合的に判断し中止にさせていただきましたので、2年ぶりの開催となりました。県下各地(横浜・相模原・平塚・藤沢・川崎・秦野・南足柄)のジュニア合唱団10団体に、海老名市立海西中学校が加わり、計11団体、222名の子供たちの爽やかな透明感溢れる歌声が広がりました。

当日ご来場頂いた皆様、ジュニア合唱祭にご尽力いただきました全ての皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。



プラカード入場の様子

この合唱祭ではここ数年、それぞれの個性や特徴を活かした各団体のステージに加えて、連続した2団体による合同演奏『ソングブリッジ』を行なっています。組み合わせも意図的に毎年変えていますが、事前に相手のグループの練習会場を訪ねたり、本番当日のみではない交流が積極的にされています。さながら小遠足のような楽しみで、違うグループの練習会場や環境で練習すること、いつもと違う先生のレッスンを受けたりお互いの練習方法を情報交換したりすることは、子供たちにとって大変な刺激になるようです。

このソングブリッジは海外の子供たちの合唱フェスティバルなどで、違う国の合唱団同士がそれぞれの言語の壁を越えて、歌・音楽を通して心の交流をするために取り入れられる素晴らしいアイデアですが『神奈川のジュニア合唱祭でも』と数年前のジュニア合唱祭後の指導者達の懇親会での活発な意見交換の場に出されました。こうして子供たちのみならず、指導者同士もお互いを切磋琢磨する機会になっているのだと思います。

今年のジュニア合唱祭は講師に作曲家の新実徳英先生、指揮者の田中登志生先生(前理事長)をお招きしました。新実先生には、それぞれの演奏後に講評として客席から温かいお言葉で子供たちに語りかけていただきました。田中先生には達筆な字で講評カードいっぱいメッセージを頂戴しました。声の温もり、文字の温もり。この便利さや情報のみが先行される時代に生きている子供たちにとっても、とても貴重な生のお言葉をいただきました。改めて講師の先生方に感謝申し上げます。

子供たちも、違うグループの演奏に『メッセージカード』として1人3枚ずつ記入しメッセージを届けます。これもこのジュニア合唱祭の特徴です。小さい子も高校生も、皆、それぞれの思いを込めて他のグループの演奏を褒めあいます。子供たちがそれぞれの良いところを沢山見つけて記入しているその光景もとても美しい心の表れです。相手が不快になることは記入しないように、と子供たちに伝えていますが、本当に真っ直ぐな思いで子供たちはお互いの演奏(ステージ)を見つめ、全身で受け止めているようです。

オープニングには子供たち全員による『そよ風はともだち』(吉田孝古鷹先生作曲)、休憩開けの全体合唱は、連盟歌『朝の光に』(田中実前事務局長作詩)、エンディングの合同合唱に新実先生ご自身の指揮で『白いうた青いうた』より『南からの人々』『二十歳』『壁きえた』を高らかに披露しました。

新実先生には午前中のリハーサルで直々にレッスンをしていただき、それぞれの曲の成り立ちなどもご指導いただきました。

当日、会場にはオープニング曲の作曲家でもある吉田孝古鷹先生も駆けつけてくださり、子供たちの歌声を見守っていただきました。奇しくもオープニング曲の作曲家、連盟歌の作詞家、エンディング合同曲の作曲家が勢揃いされて、楽曲を作られた皆様の前で演奏できた子供たちにとって、これからも歌い続けていく上での大きな大きな喜びとなったものでしょう。

桜の美しい季節(今年は開花が遅かったので、いつものお花見の日よりではありませんでした)に開催されるジュニア合唱祭も、来年で35回目を迎えます。

県単位で子供達のための合唱祭が何年も続けて行われているのは神奈川県のみでして、大変魅力的な企画でもあります。子供たちが歌い続けられる環境こそ、失ってはならない尊いものではないでしょうか。県連では育成事業としてこのジュニア合唱祭を続けられることを誇りに思っております。是非とも皆様のご支援とご理解を今後とも賜りたく存じます。

来年は3月31日。また県立音楽堂に子供たちの素晴らしい歌声が伸びやかに美しく広がることでしょう。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(記事：ジュニア合唱祭 実行委員長 藤原規生)



講師の先生方と子供たち

2012年度NHK全国学校音楽コンクール 課題曲講習会 開催報告

2008年に始まった当講習会も今回で5回目となり、今年も多くの聴講者を集め、盛況となりました。

小学校部門では伊勢山小学校合唱団の皆さんの清らかな響き、中学校部門はモデル校を立てず、同声・混声別での全体練習、高等学校部門は桐蔭学園女子コーラス部の非常に訓練された歌声と、どの部門においても全く遜色ない演奏、講習が繰り広げられ、子供たちの無限の可能性を感じ、この上ない幸福感で一杯です。



中学校部門の指導の様子

講師の清水敬一先生はNHK課題曲の舞台初演を毎年のように手掛け、今の合唱界で知らない方は、まずいらっしゃらないであろう存在で、モデルを務めた皆さん、全体合唱の指導を受けた中学生の皆さんにとって一生の宝となる貴重な経験であったと思います。県レベルの合唱連盟で、全国区で活躍する方を講師に迎える講習会は通常ではなかなか難しいことです。これも当連盟が多くのプロ指導者が役員として在籍し、強い絆で繋がっている証と言えることです。その意味で他県以上に意義深い事業が展開され、皆様の活動のお手伝いをさせていただいていることと感じます。

私は今回を以て10年務めた理事を退くことになりました。これまでの10年間本当にありがとうございました。今後とも皆様にとってこの上なく素晴らしい合唱生活が送れることをお祈りします。

(記事：NHK 全国学校音楽コンクール課題曲講習会 実行委員長 金子佳弘)



清水先生と指導を受ける高校生



小学校部門の指導の様子



演奏を披露する桐蔭学園女子コーラス部の皆さん



熱心に指導する清水先生



指揮をする清水先生と伴奏の織田先生



ピアノ伴奏の織田先生と会場の様子

- ・開催日 4月30日(月)
- ・会場 杉田劇場(磯子区民文化センター)
- ・講師 清水敬一(指揮)・織田祥代(ピアノ)

カトウ先生の『合唱基礎のキソ』

♪第2回♪ ～発声練習について～

今回は発声練習について考えてみます。

発声練習には大きく分けて二つの意味があると思います。

- 1) その日の練習・本番のためにウォーミングアップとして行う
- 2) スポーツの基礎練習と同じように、自分自身の声を鍛えるために行う

指導者またはボイストレーナーの方がそれぞれに合ったメソッドを示して下さっていると思いますが、ワンランクアップを目指すみなさんは、2) のケース、スポーツ選手が個々人で走りこみや素振りをするように、自分なりの日常訓練用メソッドをもっていると良いでしょう。

発声に使う音階には幾つかの型があります。

・短い音階

譜例にあるように、短い（五度くらいまでの）近接した音階。この音型はどこ合唱団でも普段の発声に使っているでしょう。

〔譜例1 短い音階〕



・長い音階

五度（ドレミファソ）より長い音階、オクターブまたはそれ以上まで動く音階。これには、「連続した音階」と「跳躍のある音階」があります。

〔譜例2 連続した音階-1〕



これも譜例1と同様、みなさんよく使う音階だと思います。オクターブの音程を正確に歌うことはとても重要です。少しひねりを加えて、譜例3のように、連続する3つの音のつながりを美しく歌ってみる練習も効果的です。この譜例はぜひ下りも試してみてください。

〔譜例3 連続した音階-2〕



さらに早目のパッセージの練習として、譜例4などもとても良い練習になります。

〔譜例4 連続した音階-3〕



跳躍する音階にも限りなくパターンがありますが、譜例5にある二つの跳躍音型はよく使われます。上はオクターブまで、下は少し形が違いますが、上のミまでの跳躍をしています。上級者はさらに上のソまで11音の跳躍練習もしてみると良いでしょう。

〔譜例5 跳躍のある音階〕



またここでも少しひねりを加えて、三度ごとに跳躍していく譜例6のような練習も効果があります。

〔譜例6 跳躍のある音階-2〕



このような幾つかの音階の型を、調を変えて、ハミング、母音などを使って練習していきます。

どのようなパターンでも良いのですが、声出しの最初から大声を出して無理のある音高まで歌うのはあまりお勧めできません。最初はやはりハミング、オープンハミング、またはU、Iなど母音から始めるのが喉の負担などを考えてもよいと思います。

たとえばですが、短い音階（ハミング）⇒短い音階（オープンハミングかUなどの柔らかな母音）⇒近接した長い音階⇒跳躍した長い音階⇒スタッカート、レガート、同音進行など特に練習したい課題⇒クールダウン などのように自分のパターンを決めて、日ごろから練習してみると良いでしょう。

声楽教本について

『コールユーブンゲン』で基礎を作り『コンコーネ 50 番』に進むというのがオーソドックスな道筋のひとつですが、声楽を専門に学ぶのでなければ、この楽譜を全部勉強する機会は、なかなかないかも知れません。

そこで、趣味で合唱をしつつ声楽教本も自分の練習に取り入れてみたい方には、『ヴァッカイ (Vacca) 声楽教本』をお勧めしたいと思います。

この教本の前半部分、「音階（二度、三度、四度～オクターブ）」、「半音」、「シンコペーション」、「速い音階練習への導入」くらいまで一通りしっかり練習してみると、普段の発声練習では気づかなかったこと、たとえば自分は四度の跳躍が上手いかわない、半音進行に甘い部分がある、などの課題を見つけることができるでしょう。ヴァッカイは一つの課題が1～2ページ（四段～八段）程度、歌詞と伴奏がついていて、負担感なく楽しく取り組めると思います。

最初は歌詞を使わず母音で十分練習し、余力のある方はイタリア語の歌詞でも練習してみるとよいでしょう。時々、合唱団の指導者の方に成果をみていただき、注意した方がよいことや不足している部分を教えていただけるとさらに効果が倍増するでしょう。

（記事：声楽家・合唱指揮者 加藤雅子）

『かながわの合唱団を訪ねて』

第13回

【婦人】コールムッテル・ぐるーぷ“音の輪”

春の木漏れ日というよりは、初夏のガラガラした雰囲気を出し始めたかのような暑い日差しの中、ハーモニーホール座間に向かいました。この日は『第10回ぐるーぷ“音の輪”&コール・ムッテルジョイントコンサート』の開催日。一体どんな音楽に巡り合えるのかと、ワクワクしながら会場に足を運びました。



ハーモニーホール座間

元々、座間市の女声合唱講座で歌を始めた人々が結成したのがぐるーぷ“音の輪”の始まり。昭和43年のことでした。それから4年後に結成されたコール・ムッテルとともに、座間を中心とした地域で地元密着型の活動を続けてきました。普段は県の合唱祭や地域の行事での演奏が中心ですが、3年に一度の割合でジョイントコンサートを開催しており、今回のジョイントコンサートが記念となる10回目の開催とのことでした。

ジョイントコンサートは5部構成で充実した内容でした。紙面の都合で曲紹介はできませんが、各部の主題は以下の通りです。

- I. 今、日本中に届けたい歌
- II. 女声・同声合唱による10のメルヘン（愛する歌）より
- III. 懐かしの映画音楽を集めて
- IV. 魅惑のソリストたち
- V. あこがれのブロードウェイミュージカルから

これらの主題を読んだだけでも、楽しそうな演奏内容が伝わってきます。

特に最後のV部で演奏していたコーラスライン最後の曲『ONE』は、私が吹奏楽に携わっていた時代によく

演奏した曲で、この曲を聴いていて懐かしい青春の思い出がよみがえり、心が熱くなりました。



本番での演奏

各部とも舞台監督の指導の元、充実した演出や衣装、サキソフオンの伴奏なども加えた充実した表現で観客を魅了しています。もちろん演出だけでなく、演奏も光輝く素敵な女声合唱でした。特に両団体合同での演奏も、全く違和感を覚えなかったのは、やはり指揮者の先生の素晴らしい指導力と両団体の皆さんの努力のたまものでしょう。



山岸陽子先生

両団体とも指揮者は山岸陽子先生。すでに40年にわたり両団体を指導しています。現在は座間市演奏家連盟の会長として活発な音楽活動を行っておられます。その山岸先生にお話をお伺いしました。

～両団体の特徴を教えてください～

音の輪さんがお姉さんで、ムッテルさんのほうが妹のような感じですね。音の輪さんはノリがいい！ムッテルさんは私の音楽についてくる感じがひたむき。でも両団体とも素晴らしいですよ。

～ジョイントコンサートの構成について～

私が中心となって構成を組んでいます。普段の選曲から自分の納得した曲を演奏したいという気持ちで選曲しています。当たり前の合唱曲ではなく、第九から唱歌、演歌、ポップス…と、幅広いジャンルを歌います。それによって音楽の幅を広げるという意味もあるのです。



満員の会場

会場に詰めかけた満員の聴衆と素敵な演奏。温かく応援する拍手に包まれて、演奏する皆さん

の幸せそうな顔が印象的でした。これからも地元に根ざした音楽活動で座間を盛り上げてください。

(記事：カノン担当 栗林)

<コーラスへのお誘い>

- ◆名 称：コール・ムッテル
- ◆練習日：毎週金曜日 10:00～12:00
- ◆会 場：座間市公民館
- ◆連絡先：佐藤 046-253-3387

- ~~~~~
- ◆名 称：ぐるーぷ “音の輪”
 - ◆練習日：毎週木曜日 10:00～12:00
 - ◆会 場：北地区文化センター、相模が丘コミュニティセンター
 - ◆連絡先：板井 046-251-3718

●●●●●新理事紹介●●●●●

平成 24 年度 12 名の新理事誕生です。 どうぞ、よろしくお願いいたします。



氏 名	吉田 千鶴子（よしだ ちづこ） <個人会員>
所 属 合 唱 団	横浜並木男声合唱団 シーサイド・グレイスフル・シンガーズ 指揮者
パ ー ト	指揮者
趣 味・特 技	ガーデニング ブログを書くこと
抱 負 を 一 言	神奈川県合唱連盟ならではの特色を作って、歌う側も、聴く側も楽しめる合唱を広めたいと思います。微力ですが、全力投球します！



氏 名	清水 麻子（しみず あさこ） <中学会員>
所 属 合 唱 団	海老名市立海西中学校合唱部
パ ー ト	指導者 メゾソプラノ
趣 味・特 技	おいしいものを食べたり吞んだりすること
抱 負 を 一 言	お役に立てるかわかりませんが、出来ることを精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



氏 名	熊谷 康子（くまがい みちこ） <中学会員>
所 属 合 唱 団	横浜市立港南中学校
パ ー ト	指導者
趣 味・特 技	茶道歴 20 年以上！！
抱 負 を 一 言	合唱に対する情勢、パワーを先輩方からたくさん吸収させていただきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



氏 名	小川 俊（おがわ しゅん） <大学会員>
所 属 合 唱 団	横浜国立大学グリークラブ
パ ー ト	bass
趣 味・特 技	睡眠・ラジオ聴取
抱 負 を 一 言	横浜国立大学グリークラブで部長を務めております小川俊と申します。一年間の短い間ですが、よろしくおねがいします。



氏 名	大野 史賀（おおの ふみか） <大学会員>
所 属 合 唱 団	鎌倉女子大学合唱団
パ ー ト	メゾソプラノ
趣 味・特 技	ソフトテニス・読書
抱 負 を 一 言	お役に立てるかわかりませんが、出来ることを精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



氏 名	田端 裕子（たばた ゆうこ） <婦人会員>
所 属 合 唱 団	湘南はまゆう
パ ー ト	ソプラノ
趣 味・特 技	趣味 観劇 特技 変顔
抱 負 を 一 言	皆さんと楽しい音楽の時間をたくさん共有できるよう、笑顔で頑張ります。



氏 名	福島 雅子（ふくしま まさこ） <婦人会員>
所属合唱団	樫の実コーラス
パート	アルト
趣味・特技	歌って踊ること
抱負を一言	ご活躍されている理事の方々の仲間入りをさせて頂いて、少しでも近づけるように頑張っていきたいと思っています。



氏 名	有本 幸子（ありもと さちこ） <婦人会員>
所属合唱団	座間女声合唱団
パート	メゾソプラノ
趣味・特技	やはりコーラスでしょうか
抱負を一言	まだまだわからないことばかりですが 無理をせず ゆっくり頑張りたいと思います。



氏 名	小山 明子（こやま あきこ） <婦人会員>
所属合唱団	クローバーの会
パート	ソプラノ
趣味・特技	音楽に関する全般・・・歌う、聴く、コンサートで盛り上がる！などなど。編み物も大好きです。
抱負を一言	4年間という長～い任期ですが、終わったら「あっという間でした」と、言えるように、楽しみながら頑張っていこうと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



氏 名	檜垣 明宏（ひがき あきひろ） <一般会員>
所属合唱団	川崎混声合唱団
パート	テノール
趣味・特技	トレッキング・少林寺拳法二段
抱負を一言	しっかりと活動に取り組んでいきたいと思っています。



氏 名	桑原 元（くわはら はじめ） <シニア会員>
所属合唱団	晴嵐男声合唱団
パート	バリトン
趣味・特技	歩くこと 家庭菜園
抱負を一言	シニアですが若いひとに負けないよう動きます



氏 名	大塚 穆（おおつか きよし） <シニア会員>
所属合唱団	男声合唱団フロイデ
パート	バス
趣味・特技	趣味 スポーツ観戦；音楽鑑賞 ・ 特技 特になし
抱負を一言	県連の数多い行事に、先ずは無我夢中でついて行きたいと考えてます。

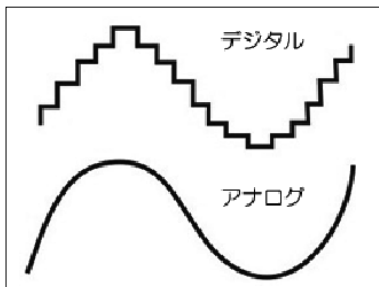
杉山 範雄の私的趣味の部屋

♪ 第二回 ♪

～デジタルメディア(光ディスク)編～

さて連載第2弾は、デジタルメディア編と予告しましたが、その前に、アナログ・デジタルについてもう少し述べたいと思います。

「音」は一般的に「波形」で表すことができます。この「波形」をそのまま記憶するのがアナログ録音です。元の波形をそのまま記憶するので

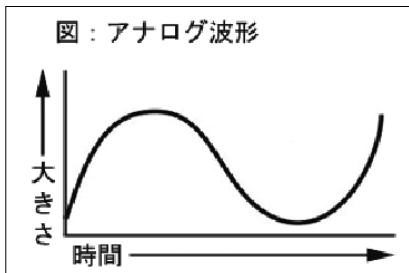


から音質も良いような気がします。アナログのデータは再現するプロセスにおいて劣化が生じてしまい雑音混じってしまいます。ところがデジタルのデータは再現するプロセスにおいて劣化が少ないのでより雑音を含まない元の音に近い状態で再生が可能となります。

さらに、アナログ録音されたものをコピーするとどんどんと元の波形が崩れ、音質が劣化してしまいます。一方のデジタル録音は、この波形を細かく区切り数値化することにより録音します。この数値はコピーしても変わらないため、音質が劣化することがありません。また容易にパソコンに取り込んで加工することもできます。

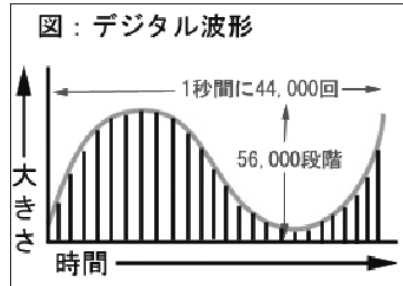
またデジタルの音質は「bit」と「kHz」で表すことができます。「bit」とは音の大きさをどれくらいの諧調で表現しているかということです。また「kHz」とは1秒間を何回に分けてデジタル化しているかという事で、どちらも数値が高いほど高音質ということになります。

アナログの音の良さはよく「暖かみがある」と表現されます。これはCDが発売された直後のデジタル変換技術にも要因があるようなのですが、CDの音質については当初色々な反応がありました。「冷たい音だ」、「ぬくもりが感じられない」などです。またアナログレコードはCDのように20Hz～20kHz以外の音をカットするというような事は行われていません。また、デジタル録音は音の波形を細かく区切って数値化しているため、音の波形をそのまま記録するアナログよりも優れているという考え方もあります。



では、上記のような利点がありながら、なぜ現在「デジタル録音」、「CD」が主流になったのでしょうか。一つは「劣化しない」ということ。アナログ録音を記録するレコードや磁気テープは、聞けば聞くほど劣化していき、コピーする度に音質が悪くなります。また、録音機器や再生機、メディアそのもののコンパクトさ携帯性と

いう理由もあります。さらに音質。先ほども出ましたが、CDの周波数帯域は20Hz～20kHz以外の音はカットされています。なぜなら人間が「音」として認識できるのがこの周波数帯域とされているからです。これを超える周波数帯は人間は「音」として認識できません。例えば、皆さんご存知の「犬笛」がそうです。周波数は20kHzから22kHzと言われていています。また、そもそも音の入り口であるマイクの性能は20Hz～20kHzを超えるものに対して、音響測定用マイクなど特殊なもの以外、ほとんどないのです。さらにマイク性能が理論上20Hz～20kHzとなっても、実際に測定すると性能通りとはいかない場合が多いようです。つまり、音の入り口の範囲を超えて録音することや、人間が「音」として認識できない音を記録する事が、そのまま良い音質に繋がるとは限らないわけです。またそもそもアナログレコードでは、10kHzを超える高音は多くが減衰してしまうという話もあります。



さて、CD、MD、DVD、BDなどの、光を使って読み書きする光ディスクの研究は1960年代から進められ、1980年に『レーザーディスク』が市場に登場しました。光ディスクは厚さ数ミリ程度の円盤ですが、保護層・記録層・反射層などそれぞれ役割の異なる複数の層が重なる形で作られています。規格により多少異なる要素はありますが、レーザー光を光ディスクに照射するとレーザーは保護層を通り抜けて記録・反射層に到達します。ここでレーザー光は記録層に設けられたピットと呼ばれる凹みにより性質が変えられたうえで反射されます。この反射されたレーザー光を光センサーにより解析することで情報を読み取る仕組みです。光ディスクには、生産工場であらかじめ情報が書き込まれているもの（所謂プレス版、市販の音楽CDやDVD-Videoなど）と、CD-Rのようなユーザーが任意に情報を記録できるもの（記録型メディア）の大きく分けて2種類が存在します。また、プレス版ディスクと記録型ディスクでは記録層（情報を記録する面）に用いられる材質と記録方式に違いがあります。材料として保護層や基盤にポリカーボネート、ポリメタクリル酸メチル、エポキシ樹脂、環状オレフィン樹脂、ポリ乳酸などが、反射層には銀やアルミニウムなどが主に用いられています。光を使って読み書きするので、埃や指紋の付着によるデータの読み出しに対する悪影響が磁気ディスクよりは少なく、磁気によるデータ損失の影響もありません。こうした特性からリムーバブルメディア（記録媒体を駆動装置から容易に取り外すことのできるもの）としての利用に優れており、オーディオ・ビジュアル分野の機器で使用するための音楽や映像作品の供給媒体として、あるいはパソコンやゲーム機用のソフトウェア供給媒体として幅広く利用されているのです。

（記事：声楽家・合唱指揮者 杉山範雄）

カノンコンサートガイド

(お知らせ)

主催者の都合により、コンサート日程、内容等が変更となる場合がありますので、詳細につきましては各コンサートのお問合せ先にご確認ください。

7/14 (土)	鎌倉市民混声合唱団 第26回定期演奏会 14:30 ~ 鎌倉生涯学習センター ホール 入場料: 1,000 円 お問合せ: 菅 (かん) 045-893-4682 (Tel&Fax) 指揮: 杉山範雄、ピアノ: 飛松利子 混声合唱とピアノのための「良寛相聞」、鈴木寛夫混声合唱集「ほほえみ」
7/22 (日)	Collegium Cantorum YOKOHAMA 第7回演奏会 14:00 ~ 上野学園 石橋メモリアルホール 入場料: 2,500 円 (全席自由) お問合せ: 石崎 090-5118-3679 ccy.contact@gmail.com http://www2.to/ccy 「胸の中の風景」松下耕、「合唱のための12のインベンション」岡宮芳生、ほか委嘱初演曲もあります！
7/29 (日)	Ensemble Now 第43回定期演奏会 14:30 ~ 新宿区 四谷区民ホール 入場料: 1,500 円 (全席自由) お問合せ: http://ensemblenow.main.jp/ 木下牧子「春の予感」、Mozart「ヴェスプレ KV.339」他 ソロ: 田中詩乃、指揮: 飛永悠佑樹、ピアノ: 佐藤美保子
8/11 (土)	愛川混声合唱団 水のいのち The soul of water 第7回定期演奏会 14:00 ~ 愛川町文化会館 ホール 入場料: 800 円 (全席自由) お問合せ: 小島 046-281-1131 高田三郎先生から直接薫陶を受けた辻志朗の指揮により、「水のいのち」他なじみの深い曲を演奏いたします。
8/19 (日)	南足柄ジュニアコーラス 第26回定期演奏会 14:00 ~ 南足柄市文化会館 大ホール 入場料: 無料 お問合せ: 蟻生栄子 0465-74-6634 ブルガリヤ合唱曲、ミュージカル「長靴をはいた猫」他 指揮: 蟻生栄子、ピアノ: 近岡直人、湯川睦子
9/8 (土)	合唱団アンサンブル・アルモ 第5回演奏会 18:30 ~ 二宮町生涯学習センター (ラディアン) ホール 入場料: 600 円 (全席自由) お問合せ: 田中 090-3916-7668 アメリカ現代合唱曲、松下耕「終わりのない海」、指揮: 美濃輪和朗、富山直貴、伴奏: 堂前香織

9/9 (日)	混声合唱団 小田原木曜会 第37回定期演奏会 14:00～ 小田原市民会館 大ホール 入場料: 1,000 円 お問合せ: 吉田 0465-22-6788 (Tel&Fax) http://www.geocities.jp/suutia0406 信長貴富のスピリチュアルズ、ボブ・チルコットのミサ カンターテ他、中山晋平や千原英喜の曲を演奏します。
9/9 (日)	大磯混声合唱団 第25回定期演奏会 14:00～ 二宮町生涯学習センター (ラディアン) ホール 入場料: 無料 (入場整理券をご請求ください) お問合せ: 福島 0463-61-1809 高田三郎「心の四季」、源田俊一郎編曲「ホームソングメドレー」他 指揮: 佐藤望、ピアノ: 境田直美
9/14 (金)	混声合唱団 翠声会 第35回定期演奏会 19:00～ 大田区民ホール アプリコ 入場料: 1,000 円 (全席自由) お問合せ: 市村 090-9392-4263 ichim21@gmail.com http://www9.plala.or.jp/suiseikai/ J. ラター「レクイエム」、林光「コメディア・インサラータ」より、武満徹「うた」より
9/14 (金)	ラ・カンパネラ ～煌めいて ラ・カンパネラ 創立 20 周年記念コンサート～ 18:30～ フィリアホール 入場料: 2,000 円 (全席自由) お問合せ: 丸岡 0463-33-3608 (Tel&Fax) 客演・指揮: 寺嶋陸也、女たちのシアター・ピース コワレタイ 他
9/23 (日)	コール高森 コール高森演奏会 2012 14:00～ 海老名文化会館 小ホール 入場料: 1,000 円 (全席自由) お問合せ: 和田 0463-93-1766 http://takamori.jimdo.com 木下牧子「悲しみの枝に咲く夢」、千原英喜「みやこわすれ」他。指揮: 松村努
9/29 (土)	明神台リリーコール 第15回演奏会 14:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料: 1,000 円 (全席自由) お問合せ: 深津 045-774-8277 組曲「光の方へ」、「女の愛と生涯」、「沖縄の歌」他、ゲスト: 小栗慎介、指揮: 小栗純一、ピアノ: 矢野令子
9/29 (土)	アガパンサス アガパンサスコンサート VI 初秋のひとときを 14:00～ 神奈川県立音楽堂 入場料: 1,000 円 お問合せ: 阿部 0467-48-4860 http://homepage3.nifty.com/agapansasu/ バイエルによる「女声合唱曲集」「葡萄の歌」「四季の抒情」4 ステージでは港が見える丘・瑠璃色の地球 他
10/3 (水)	女声合唱団 コール・マーガレット 第6回コンサート 14:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料: 無料 (事前に入場整理券をご請求ください) お問合せ: 菅原 045-954-3641 小林秀雄作曲「落葉松」、抒情歌、組曲「旅」、ミュージカル「メリーポピンズ」より 他

10/6 (土)	鳳混声合唱団 創立 40 周年記念コンサート 14:00 ~ サルビアホール(横浜市鶴見区民センター) 入場料: 前売り 1,500 円 当日売り 2,000 円 お問合せ: 西澤 045-581-6182 midorin@yg7.so-net.ne.jp http://www6.ocn.ne.jp/~ohtori/ 信長貴富・新作委嘱作品および編曲委嘱作品の初演、ルネッサンス期の作品から、宮崎駿アニメ映画音楽集より
10/21 (日)	座間女声合唱団 オータムコンサート 14:00 ~ 海老名市文化会館 小ホール 入場料: 800 円 お問合せ: 有本 046-255-3297 (Tel&Fax) 「中田喜直小品集」、高田三郎作曲「遥かな歩み」他 指揮: 伊集院俊光、ピアノ: 北村智子

事務所こらむ

県連事務所のある横浜の日本大通りに
は、立派な銀杏の並木があります。

新緑の季節、木立を見上げると、太く高い枝にびっしりと芽吹いた若葉は、小さいなりにちゃんと銀杏のかたちをしていて、なんともいえずカワイイ・・・

老大木にも年に一度、そんないとけない表情を見せる時があつて、若いエネルギーを取り込んでいるのですね。

県連もこの春、正副理事長をはじめ、事務局長まで体制が一新されました。理事の皆さんも半数が改選となり、理事会はフレッシュな空気に包まれています。例年にならってという発想をやめ、少しでもよい方向に、という松村新理事長の下、事務所の報告システムや理事会の座席など、身近なところから見直しが始まっています。活気のある県連が育っていくよう、期待を込めて仕事に励みます! (記事: カノン担当 青山)



事務所付近の銀杏並木



鳳混声合唱団 創立 40 周年記念コンサート

2012 年 10 月 6 日(土) 14:00 開演/13:30 開場

サルビアホール(鶴見駅下車 徒歩 1 分)

指揮 志澤 彰 ピアノ 八木下 章子

I. ルネッサンス期の作品

1571 年生まれの M. Praetorius から 1611 年没の T. Victoria までの 8 作品

II. 「出発の歌」^{たびだち} — 1971 年生まれのポップ・ソングー

信長貴富 編曲 **編曲委嘱初演**

1. 翼をください 2. 花嫁 3. 虹と雪のバラード 4. 戦争を知らない子供たち 5. ^{たびだち} 出発の歌

III. 「宮崎駿アニメ映画音楽集」第 2 集より 全 4 曲

信長貴富 編曲

IV. 混声合唱曲集「思い出リミックス」 谷川俊太郎 作詩 信長貴富 作曲 **新作委嘱初演**

1. 昔はどこへ 2. ふるさとの町 3. 日本よ 4. 煉瓦頌 5. 過ぎゆくもの—SL 挽歌—

主催: 鳳混声合唱団(<http://www6.ocn.ne.jp/~ohtori/>) 共催: サルビアホール(横浜市鶴見区民文化センター)

入場券(全席自由): 前売り 1,500 円/当日売り 2,000 円

お問合せ: TEL 045-581-6182 西澤; E-mail: midorin@yg7.so-net.ne.jp

～県連からのお知らせ～

神奈川県合唱コンクール

◆ 中学校部門（同声・混声）、高等学校部門（A・Bグループ）

- (1) 日 時 平成24年8月22日(水) 10時30分開演
- (2) 会 場 県立音楽堂
- (3) 入場料 1,000円(高校生以下無料)
- (4) 審査員 江上孝則、桑原妙子、鈴木成夫、古橋富士雄、渡辺三郎
(順不同・敬称略)

◆ 大学部門、職場部門、一般部門（A・Bグループ）

- (1) 日 時 平成24年9月2日(日) 11時30分開演
- (2) 会 場 県立音楽堂
- (3) 入場料 1,000円(高校生以下無料)
- (4) 審査員 片山みゆき、鈴木成夫、古橋富士雄、向井正雄、渡辺三郎
(順不同・敬称略)

関東合唱コンクール

◆ 中学校部門（同声・混声）

- (1) 日 時 平成24年9月22日(土) 10時開演
- (2) 会 場 さいたま市民文化センター大ホール
- (3) 入場料 中学生券1,000円、一般(高校生含む)1,300円
- (4) 審査員 今井邦男、澤島富雄、清水敬一、片野秀俊、高嶋昌二
(順不同・敬称略)

◆ 高等学校部門（A・Bグループ）

- (1) 日 時 平成24年9月23日(日) 10時開演
- (2) 会 場 さいたま市民文化センター大ホール
- (3) 入場料 中学生券1,000円、一般(高校生含む)1,300円
- (4) 審査員 今井邦男、澤島富雄、清水敬一、片野秀俊、高嶋昌二
(順不同・敬称略)

◆ 大学・職場・一般部門（A・Bグループ）

- (1) 日 時 平成24年10月14日(日) 10時開演
- (2) 会 場 コラニー文化ホール(山梨県)
- (3) 入場料 中学生券1,000円、一般(高校生含む)1,300円
- (4) 審査員 今井邦男、澤島富雄、清水敬一、雨森文也、本山秀毅
(順不同・敬称略)

第35回 全日本おかあさんコーラス全国大会

- (1) 日 時 平成24年8月24日(金)～26日(日) 10時30分開演
- (2) 会 場 文京シビックホール
- (3) 入場料 2,500円(自由席:税込み)
- (4) 選考委員 しゅうさえこ、末廣正巳、平井丈一郎、古橋富士雄、横山潤子
(順不同・敬称略)

《 お問合せ先 》

神奈川県合唱連盟事務所 電話 045(681)6033 FAX 045(662)5119
スタッフ常駐時間 平日:月～金(休祝日を除く) 12:00～16:00
2012年9月より水曜日は事務所スタッフが不在となります。夏季休業日 8月9日(木)～15日(水)

—— 県連からのお知らせ ——

<東日本大震災に伴う義援金募集について>

昨年の総会でも通知いたしました通り、神奈川県合唱連盟は東日本大震災の被災地及び被災された方々への支援の一環として、昨年4月以降の県連各行事における募金の呼びかけを行いました。同時に、神奈川県合唱連盟が窓口となり、各団体・個人からの義援金の受付も実施いたしました。その結果多数の団体、個人の皆様より暖かいご支援を頂きました。この場を借りて御礼を申し上げます。

いただきました義援金につきましては、少しでも早く現地で活用していただこうと、現在までに2011/5/24、6/29、8/31、9/28、2012/2/17の5回、朝日新聞厚生文化事業団に寄託いたしました(1,952,917円)。また今年度からは全日本合唱連盟の「被災地の合唱活動復興のための義援金」に寄託することになり、2012/6/26に第一回目の寄託を行いました(225,788円)。今後とも継続して募集しておりますので、合唱連盟経由での寄付をご希望される団体、個人の方は引き続き以下の口座までお届けいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【郵便振込】口座記号：00200-8-100874 加入者名：神奈川県合唱連盟

※領収書の発行はできません。また義援金への募金は税法上の寄付控除の対象とはなりませんのでご注意ください。

～義援金をお寄せいただいた団体・個人の皆様～

(6/24 現在(2012年春号でのご報告以降)：全5団体(個人)：振り込み順)

松林中学校& OG OB ユース松林 ハーモニック松林 くずの葉コーラス 他個人一名様

☆コンサートガイド掲載要綱☆

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを掲載することができます。掲載方法は「無料掲載」と「有料掲載」があります。それぞれ、必要事項を記したものを郵送かFAXまたはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、無料掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。なお、有料掲載と無料掲載の両方を希望する場合は、それぞれ個別にお申し込みください。

また有料掲載につきましては、神奈川県合唱連盟に所属していない団体からも掲載を受け付けることが可能です。その場合の料金に関しては、下記掲載料の倍額とさせていただきます。

1 無料掲載：①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問い合わせ連絡先(Tel / Fax / e-mail / HPの記載可) ⑦コメント(50字以内)を掲載いたします。

2 有料掲載：1/8号 2,500円(1/4号 5,000円、1/2号 10,000円、1号 20,000円)での有料掲載を行います。内容は基本的に自由ですが、事務局がカノンに掲載することがふさわしくないと判断したものについてはお断りすることがあります。希望するサイズでの出力見本(手書き可)をメール、FAX等で送っていただき、各合唱団が作成した原稿をそのまま掲載するか、原稿案を元に事務局で作成いたします。

※カノン発行月と原稿締め切りの予定：春号 4月10日発行予定(※切：3月10日) 夏号 7月10日発行予定(※切：6月10日) 秋号 10月10日発行予定(※切：9月10日) 冬号 1月10日発行予定(※切：12月10日)

<取材希望団体募集> 「かながわの合唱団を訪ねて」のコーナーでは、取材を希望する合唱団を募集しています。希望団体は県連事務局にご連絡下さい。スタッフが取材いたします。

<編集後記> いつものこととはいえ、今回もまたバタバタとした編集となってしまいました。ただ今回からは編集委員のメンバーも新しくなり、心機一転、新しい紙面作りに励んでいます。これからも皆さんも応援よろしくお願いします。(編集長：K)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 松村 努 編集責任者 栗林宏至

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL：045-681-6033 FAX：045-662-5119

スタッフ常駐・平日：月～金(休祝日を除く) 12:00～16:00

2012年9月より水曜日は事務所スタッフが不在となります。

夏季休業日 8月9日(木)～15日(水)

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

